



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2017 **7**



6月26日(月)、兵庫県民会館において「第67回 通常総会」を開催。2016年度活動報告、2017年度活動計画など5つの議案について審議し、すべての議案が可決されました。(関連ページP.3)



生活協同組合連合会
コープ自然派事業連合 理事長

神野 利夫
(じんの・としお)

「国産オーガニック」と生協が 地域の未来をひらく

コープ自然派の2017年度重点取り組みテーマの一つに『国産オーガニックを広めよう』があります。EU諸国や、アメリカ合衆国においては目覚ましい広がりを見せているオーガニック食品ですが、日本においては、いまだに1%のシェアも程遠い状況です。国による基準作りも不十分で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、政府の思惑とは違って日本の食材が利用されずに終わる可能性が多分にあります。小売り大手も、オーガニックを冠に店舗展開を始めていますが、品揃えとして輸入オーガニック食品に頼っているのが実情です。有機農業推進法が制定されて10年ですが、まだまだ日本に有機農業が広がったとは言えません。

一方、消費者のオーガニックへのニーズは欧米ほどの力強さはないとしても、着実に広がりが見られます。輸入オーガニック通販サイト、オーガニックをうたうカフェやレストランの増加がそれを表しています。コープ自然派においては、青果の分野で有機・無農薬の占める割合が60%を超えるに至りました。消費者がオーガニックに求めるものは、単に食品としての安全性だけではなく、生物多様性の重要性、欧米の動きに逆走しているネオニコチ

ノイド系農薬の残留基準緩和が与える影響等、いわゆるエシカル消費が根底にあるように思います。

地域経済の再生にとって農業は切り離せません。しかし、生産を支える農業従事者の平均年齢は60代後半、その65%が65歳以上と若者にとって魅力的な職業となっていないのが現状です。一方、コープ自然派が運営にかかわっている「有機の学校」では、この5年間で100名近くの若者が、有機農業を学び卒業していきました。我々が提唱している「高品質、多収穫」の有機農業では、新規就農であつても十分生計を立てることができます。

農業は食糧生産手段の一つであり、同時に地域の自然環境を形成する重要要素でもあります。「国産オーガニック」を中心に据え、豊かな環境の中で豊かな食生活が営める地域社会を造る、それが『国産オーガニックを広めよう』の目指すものです。

地域経済を今一度地域の資源で活性化させるキーワードであり得る（農）。付加価値が高く収益性がある有機野菜の生産から市場形成まで関わり、地域産業を支えることは生協にとっても意義のあることです。有機農業の推進において、生協が果たすべき役割は大きいと考えます。

CONTENTS

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 2. 想点 3. 兵庫県生協連 第67回通常総会報告／2017年度活動計画 4. 第1回理事会報告／2017年度新執行体制 5. 単協通信 神戸市民生活協同組合／2016年度第7回理事会報告／会員生協 単協人事 | <ul style="list-style-type: none"> 6. 協同組合のかけ橋 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 8. 「広島被爆ピアノ平和コンサート」のご案内／事務局人事異動／県連日誌／編集後記 |
|--|---|

すべての議案審議が滞りなく終了

兵庫県生協連 通常総会 開催

第67回

◆基本テーマ
地域コミュニティ・ネットワークの構築～協同が息づく兵庫のまちづくり～

6月26日(月)、兵庫県民会館において、兵庫県生協連第67回通常総会を開催しました。代議員総数36名中、35名が出席し、(実出席26名、書面議決9名) 2016年度活動報告、2017年度活動計画など5つの議案について審議し、全議案が可決されました。

初めに、兵庫県生協連事務局 大戸 亜津子の司会ではじまり、本田英一 会長理事が「昨年11月、組合員の共通利益実現のための活動が認められ、ユネスコ無形文化遺産へ『協同組合』の登録が決定しました。これからも被災地支援の取り組みをはじめとした様々な活動を通して『平和とより良い生活ができる社会づくり』に向け、会員生協・団体とともに、さらなる連携につなげたい」と挨拶しました。続いて、来賓を代表して兵庫県企画県民部県民生活局長 橋本 正人様、神戸市市民参画推進局参画推進部長 丹本 陽様、兵庫県農業協同組合中央会専務理事 浜田 充様、日本生活協同組合連合会 関西地連事務局長 小林 紀久子様から、それぞれ大会の盛会と今後の発展

を祈念したご祝辞をいただきました。

総会では、甲南女子大学生生活協同組合専務理事 塩田 恵美 代議員が議長に選任され、議事進行。第1号議案2016年度活動報告ならびに決算報告および剰余金処分案承認の件、第2号議案2017年度活動計画および収支予算案承認の件について野間 誠 専務理事から提案・説明が行われました。続いて、金丸 正樹 特定監事より監査報告がありました。

その後、購買、医療、大学、共済生協それぞれの分野の会員生協から、2016年度活動報告が行われました。最初に、コープこうべ 竹内 由美 代議員から「小野市市場地区移動店舗運行と拠点づくり」と題して「小野市市場地区での移動店舗運行に至った経緯と今後の継続・発展に向けた取り組み」について。次に、神戸医療生協 井上 徹 代議員から「安心してくらせるまちづくり」をめざして」と題して「神戸医療生協の概要と『三つの輪』の理念にもとづいた取り組み」について。また、神戸市立工業高等専門学校生協 久保田 尚 稔 代

議員から「学生が安心して学校生活を送るために」と題して「生協学生委員会(生協同好会)を中心とした活動や共済の取り組み」について。最後に、西宮市民共済生協 白井 浩 代議員からは「安心の輪」と題して「西宮市民共済生協の歴史と組合員の暮らしに寄り添った活動」についてご報告いただきました。

その後、第1号議案、第2号議案の審議を行い、続いて第3号議案から第5号議案についても提案と審議が行われ、全ての議案が可決・承認されました。

役員選任と第1回理事会の結果、新しく兵協連会長理事に木田 克也(コープこうべ 組合長理事)、専務理事に田中 浩太郎(コープこうべ 本部長)、理事に岡本 孝子(コープこうべ 理事)、松永 俊一(神戸医療生協 常務理事)、監事に中川 寿子(コープこうべ 常勤理事)〔敬称略〕の各氏が就任しました。



神戸市 丹本 陽 部長



兵庫県 橋本 正人 局長



日本生協連 関西地連 小林 紀久子 事務局長



兵庫県農業協同組合中央会 浜田 充 専務理事

2017年度活動計画

〈基本テーマ〉地域コミュニティ・ネットワークの構築

～協同が息づく兵庫のまちづくり～

重点課題

- 課題1. 会員生協の組織・経営基盤の強化に貢献します
- 課題2. 会員生協間の事業と活動の連携と交流を促進します
- 課題3. 協同組合間協同の前進をはかります

- 課題4. 行政並びに関係諸団体との連携と交流をすすめます
- 課題5. 暮らし、平和、福祉、環境など社会的諸課題に取り組みます

兵庫県生協連 第1回理事会報告

- I. 開催日時 2017年6月26日(月)
午後3時30分～3時40分
- II. 開催会場 兵庫県民会館 11階「1103」
- III. 出席者 木田、高橋、田中、新保、岡本、大沼、
藤井、松永、福島、岡田、西谷 (以上、理事)
金丸、中川 (以上、監事)



◆会長理事、専務理事および常勤する理事互選の件

三役の互選については、理事全員の賛成で下記の理事が選任された。

会長理事 木田 克也
専務理事 田中浩太郎 (常勤する理事)

◆代表理事の選定の件

代表理事の選定については、理事全員の賛成で下記の理事が就任した。

会長理事 木田 克也
専務理事 田中浩太郎

◆日本生協連関西地連運営委員に関する兵協連枠4名の交代について

日本生協連関西地連運営委員については、下記の理事を推薦した。

兵庫県生協連 専務理事 田中浩太郎
コープこうべ 常務理事 榎本 裕一
コープこうべ 常勤理事 中川 寿子
コープこうべ 理事 岡本 孝子

兵庫県生協連・2017年度 新執行体制

○新任

役職	氏名	単協・役職名	役職	氏名	単協・役職名
会長理事	○木田 克也	コープこうべ 組合長理事	理事	福島 哲	尼崎医療生協 専務理事
副会長理事	高橋 秀行	関西学院大学生協 専務理事		岡田 勇	神戸市民生協 専務理事
専務理事	○田中浩太郎	コープこうべ 本部長		西谷 圭一	兵庫労働共済生協 専務理事
理事	新保 雅子	コープこうべ 理事	監事	本多 義弘	近畿労働兵庫兵庫地区統括本部 本部長
	○岡本 孝子	コープこうべ 理事		金丸 正樹	ろっこう医療生協 顧問
	大沼 和世	生活クラブ生協都市生活 監事		○中川 寿子	コープこうべ 常勤理事
	藤井 貴浩	兵庫県立大学生協 専務理事		岡村 卓治	姫路市民共済生協 理事長
	○松永 俊一	神戸医療生協 常務理事			

～退任の理事・監事～



本田 英一

日本生活協同組合連合会
代表理事会長



野間 誠

コープこうべ



伴 智代

コープこうべ
理事



板崎 聡

神戸医療生協
前専務理事



山添 令子

コープこうべ
顧問

～新任の理事・監事～



木田 克也

コープこうべ
組合長理事



田中浩太郎

コープこうべ
本部長



岡本 孝子

コープこうべ
理事



松永 俊一

神戸医療生協
常務理事



中川 寿子

コープこうべ
常勤理事

「あかし市民広場」で事業を紹介

5月19日(金)、明石駅前にある商業施設「パピオスあかし」2階の「あかし市民広場」にて、「共済・保険の相談会」を実施しました。

「パピオスあかし」は、明石駅南側に位置し、県内有数の商店街「魚の棚商店街」とも陸橋で直結し近接しています。各種専門店のほか、市役所の窓口や図書館、子ども健康センター等があり、平日・休日問わず多くの方で賑わっています。2階部分は「市民広場」として開放され、市民の方の憩いの場やイベントスペースとして利用されています。

相談会当日はパンフレット配布やアンケート、相談受付による普及推進活動をおこないました。交通事故によるケガの保障や、自転車事故による相手方への賠償補償のほか、病気で入院保障などについて幅広くご案内しました。また、ご相談をいただいた方には、交通事故防止のための反射ステッカーなどプレゼントもお渡ししました。

今年度より、日頃各地域にて普及



活動をおこなっているライフアドバイザーもスタッフに加え、より充実した体制での相談会を実施しております。明石市において、当組合はなじみの薄い面もありますが、このような相談会を定期的開催することによって、地域のみなさまにより親しみを感じていただけたらと思います。PR活動を続けていきたいと思えます。

(通信員 鹿田裕子)

2016年度 兵庫県生協連 第7回理事会報告

- I. 開催日時** 2017年6月5日(月) 午後2時00分～3時40分
II. 開催会場 兵庫県民会館 12階「1201」
III. 出席者 本田会長理事、高橋副会長理事、野間専務理事、板崎、福島、新保、伴、大沼、藤井、岡田、西谷(以上、理事)、金丸、山添、岡村(以上、監事)

【議決事項】

- (1) 第67回通常総会 第1号議案承認について
 - ① 第1号議案「2016年度活動報告、決算報告および剰余金処分子案承認の件 監査報告書」
- (2) 兵協連2017年度会費額決定および会費予算決定について
- (3) 第67回通常総会 第2号議案、第3号議案、第4号議案、第5号議案承認について
 - ① 第2号議案「2017年度活動計画および収支予算案承認の件」
 - ② 第3号議案「定款一部変更の件」
 - ③ 第4号議案「役員補充選任の件」
 - ④ 6月14日臨時理事会(電磁的方法)の開催について
 - ⑤ 第5号議案「役員報酬決定の件」

【協議事項】

- (1) 第67回通常総会およびレセプションの運営について
- (2) 第67回通常総会直後に行われる第1回理事会議題について

- (3) 2017年度生協功労者表彰の候補者推薦について
- (4) 第2回理事会後の兵庫県企画県民部と兵協連理事会との懇談会および懇親交流会について

【報告事項】

- (1) 分野別生協(出席理事・監事)からの状況報告
- (2) 第95回国際協同組合デー・兵庫県記念大会(7/6)について
- (3) 前回理事会(4月3日)～6月初旬までの兵協連行事・活動報告
 - ① 5/25兵庫JCC幹事会
 - ② 5/18生協活動委員会
 - ③ 4/25兵庫JCC事務局会議
- (4) 2016年度関西地連 第5回運営委員会討議報告
- (5) 「健康チャレンジ」第1回実行委員会報告
- (6) 2017年6月～兵協連主要スケジュール(案)について
- (7) その他 2018年通常総会は6月25日(月)に決まりました。

◆ ◆ ◆ 単協人事 ◆ ◆ ◆

生協名	役職名	氏名
生活協同組合コープこうべ	組合長理事	木田 克也
	専務理事	山口 健治
甲南大学生生活協同組合	理事長	都染 直也
神戸薬科大学生活協同組合	理事長	松家 次朗

生協名	役職名	氏名
生活協同組合連合会大学生生活協同組合関西西北陸事業連合	理事長	井内 善臣
神戸医療生活協同組合	専務理事	井上 徹

JF

兵庫県水産振興基金

協同組合間協同で地魚の普及へ コープこうべ 水産チーフ 産地学習会

5月18日(木)コープこうべの水産チーフ(店舗水産担当者)と商品部(バイヤー)、JF但馬 組合員、女性部、職員との学習交流会を行いました。コープこうべ 水産チーフとJFとの交流学習会は平成28年2月から行っており、今回で3回目を迎えます。

この学習会は兵庫県下の地魚をコープこうべの店頭で販売し、同時に魚食普及活動を行う、「ひょうごの地魚推進プロジェクト」を進める中で、実際に店舗の売り場で日々業務を行っている水産チーフに浜を知ってもらう事で、ひょうごの地魚の良さやその背景をより多くの消費者に伝えてもらうために開催しています。

当日はJF但馬 女性部による料理教室を行い、交流しながら昼食を取った後、ワークショップを行いました。ワークショップはコープこうべの水産チーフからのインタビューにJF但馬の組合員・女性部・職員が答える形で進められました。

ここで得た知識や気づきを自分たちの店舗に持ち帰って、周りの職員や消費者に伝える学習会の講師を務めるまでが水産チーフの学習会のカリキュラムの一環となっており、水産チーフたちは熱心に生産現場の思いや消費者に伝えたいことをインタビューしていました。このグループワークは毎回、終了後に水産チーフのモチベーションが上がったという声をいただいています。

このように、魚を実際に消費者に販売している、消費者との最終窓口を担う方にいかに兵庫の魚のよさを知って、愛情を持ってもらうかが魚食普及の大きなカギとなるのではないかと感じています。

今後も、より多くの消費者に兵庫の魚を食べってもらうために、この取り組みを継続していきたいと考えています。



JA

JA グループ兵庫

米の需要拡大や担い手育成の強化を/ 県幹部とJAグループが意見交換

JAグループ兵庫と兵庫県は、担い手育成や農地の有効活用など本県農業振興のための重要課題に連携して取り組むため、これからの農業施策のあり方について意見を交わしました。5月15日、県農業会館で開かれた意見交換会に、県から藤澤崇夫農政環境部長をはじめ関係局・課長らが、JAグループからはJA組合長と県連合会役職員が出席しました。

県農政環境部から、平成29年度の主要農業施策をはじめ、①30年産以降の米生産の方向、②主食用米オリジナル品種の育成、③県都市農業振興基本計画について説明されました。

JA組合長から、米に関する課題については、「国が種子法を廃止したが、本県では種子生産と確保をしっかりとしてほしい」「米の消費量は減っているが、消費県である本県は需要拡大運動にもっと取り組むべき」などが出されました。

また、担い手育成の課題については、「若い後継者がICT等を活用した農業に取り組めるよう支援してほしい」「担い手が受託した水田の用水確保のため、地域合意を得やすくする仕組みが必要」など、さらに都市農業振興については「市町が都市農業振興基本計画を策定するよう県から働き掛けてほしい」などが出され、県幹部と活発に意見交換をしました。



県とJAグループとの連携の重要性などについて話す藤澤農政環境部長



兵庫県立大学生が 生活科学総合センターの 紹介ビデオを作りました

県立大学の学生が生活科学総合センターの紹介ビデオを制作しました。
センターのホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

● 生活科学総合センター ●

県内消費生活センターの中核機関である兵庫県生活科学総合センター（神戸市中央区港島中町4-2）は、消費者被害の救済及び未然防止・拡大防止を強化するとともに、県民が自立した消費者として、様々な知識を持ち、適切な行動がとれる実践的な「消費生活力」を身につけるための事業を実施しています。センターには、全国の消費生活センターでも数少ない無響室や恒温恒湿室などの商品テスト設備を備えており、商品テスト機器の貸出や施設見学も行っています。

〈センター紹介ビデオの制作〉

消費者啓発の一環として、センターの機能や設備を紹介するビデオの制作を「ソーシャルメディア研究会」に依頼、県立大学生3人が従事し、平成29年3月に完成しました。

- **タイトル** 【兵庫県立大学生作成】生活科学総合センター紹介ビデオ
- **上映時間** 約11分
- **主な内容** 県立大学の学生がセンターの見学を通じ次の内容を紹介します。
 - ① 兵庫県生活科学総合センターの機能（消費生活相談ほか）
 - ② 商品テスト設備と機器（無響室、耐火耐爆室、X線透視装置など）
 - ③ 商品テスト体験学習会
- **制作** ソーシャルメディア研究会

「ソーシャルメディア研究会」

兵庫県立大学姫路環境人間キャンパスを拠点に同大学環境人間学部竹内和雄准教授を中心に県立大学や他の大学の学生から構成される団体。子どもとインターネットの関わりについて考え、県内外の学校に出前授業を行うとともに、スマホサミットの開催を支援している。平成28年度に、センターがメール配信する消費生活情報を作成した。

ホームページ ▶ <http://www.seiken.server-shared.com/> ←トピックスに掲載しています
(兵庫県生活科学総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓



みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。
今年の夏は、例年より暑くなるという予報のようですね。とは言っても、どうやって、対策をしたらよいのか…。
覚悟だけはしておくこととして、毎日、がんばりたいと思います。

さて、今回は、最新のひょうご消費者ネットの差止請求事案をご紹介します。5月31日、宅配パソコン修理「オープンリペア」を運営するオールネスホールディング株式会社に対して、常に修理金額が「4,980円」であるかのような誤解を招くホームページの表示をやめるよう申し入れました。「オープンリペア」は、インターネットでパソコン修理を受け、パソコン自体を郵送させて、預かります。パソコンを預かった状態で、修理代金を査定します。すると、4,980円を超える金額になるのです。消費者が想定外の修理代金を理由にキャンセルしようとする返送料実費及び事務手数料として3,240円を請求されるなどの事態が生じています。このようなキャンセル料に関する記載は、ホームページのトップページに表示されておられません。「オープンリペア」の誠意のある対応を望むところです。

それでは、また来月号でお会いしましょう。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

広島被爆ピアノ ピースアクション2017 平和コンサート



原爆の爆風で傷つきながらも
永い歳月を乗り越えた
「被爆ピアノ」が平和を奏でる
コンサートを開催します。
みなさまのご参加をお待ちしております。

出演予定

矢川 光則
(矢川ピアノ工房)

甲南大学文化会
(JAZZ研究会、KSWL)



ソプラノ
大島 久美子



ピアノ
森須 奏絵

2017年8月19日(土)

13時 開場 / 13時30分 開演(終演 15時30分 予定)

コープこうべ生活文化センター 2階ホール

神戸市東灘区田中町5丁目3-18 TEL/078-431-5273

入場無料

事前のお申し込みが必要です

先着400名様

お子様も一緒に
ご参加いただけます

お申込み 方法

【お名前・年齢】・【〒(郵便番号)・ご住所】・【電話番号】・【ご同伴者(4名まで)のお名前・年齢】・【ご利用の生協名】を明記のうえ、
【ハガキ】【FAX】【メール】にて、以下の方法にてご応募ください。

※定員400名に達し次第、締め切ります。ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。

申込先 〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3 県民会館4階
兵庫県生活協同組合連合会 「広島被爆ピアノ平和コンサート」係まで

FAX 078-392-2059

メール hyogo@kobe.coop.or.jp

主催：兵庫県生活協同組合連合会 後援：神戸市教育委員会・神戸新聞社

●退任のご挨拶 野間 誠



2015年6月23日の着任から2年間、会員生協の皆様、行政の皆様、関連団体の皆様には、多岐にわたりますご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。皆様の温かいご高配に、心よりお礼を申し上げます。皆様には、感謝の気持ちでいっぱいでございます。重ねて感謝を申し上げます。

今後とも、兵協連へのご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

皆様のご健勝ご多幸と、よりいっそうのご発展を心より祈念いたしております。本当に、ありがとうございました。

●就任のご挨拶 田中 浩太郎



この度、兵庫県生協連専務理事を拝命した田中浩太郎でございます。超高齢・少子社会の進行や、それに伴う社会的孤立、格差、貧困の増大など多様で困難な社会的課題が広がる中、私たち生協の果たすべき役割や使命に、内外からの期待は大きく高まっています。

誰もが安心して暮らせる地域社会を実現していくには、会員生協や各協同組合のみならずが連携し、協働することが何より必要です。2017年度も「協同が息づく兵庫のまちづくり」をテーマに、会員生協をはじめ農協や漁協、森林組合のみならずの連携・協同の促進に向けたネットワークづくりをより一層強めて行きたいと考えています。その責任の重大さを痛感しつつ、精一杯尽力していく所存です。

会員生協のみならずのご指導、ご鞭撻、ご協力を何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

会員生協皆様のご支援により、第67回通常総会を無事、終えることができました。ありがとございました！初めての司会、緊張しましたが、シナリオを幾度となく読み返してあるうちに、いただいたお祝いメッセージの「衷心より」が「中心：衷心：忠臣」どれが正しいのか、イントネーションがわからなくなっていました。混乱したまま本番。どの「ちゅうしん」だったか記憶が定かではありません。着任から一年、皆様に支えられての一年でした。また新たな気持ちで取り組みたいです。(大戸)

日付	内容	会場
7月6日(木)	第95回国際協同組合デー・兵庫県記念大会	(県民会館 けんみんホール)
7月7日(金)	兵協連 第1回保健・医療・福祉研究会	(県民会館 1101)
7月11日(火)	兵協連 第1回医療生協部会	(県民会館 ばら)
7月12日(水)	兵協連 第1回ピースアクション委員会	(県民会館 ばら)
7月13日(木)	兵協連 第2回生協活動委員会	(県民会館 ぼたん)
7月14日(金)	兵協連 第1回共済生協部会	(県民会館 ばら)
7月18日(火)	兵協連 第1回生活問題研究会	(県民会館 ばら)
7月21日(金)	兵協連 第2回健康チャレンジ実行委員会	(県民会館 301)
7月22日(土)	兵協連 第1回大学生協部会	(兵庫県学校厚生会館)
7月24日(月)	兵協連 第1回監事会	(兵協連事務所)
7月25日(火)~26日(水)	兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」	(三木市)
7月31日(月)	兵協連 医療生協活動交流会	(農業共済会館)

県連日誌